

レジメン名

FLAGM

出典 Int J Hematol. 2019
Apr;109(4):418-425.

実施部署区分

■入院 ■外来 □処置

対象疾患

AML

■進行・再発
□補助療法(術前・術後)
□初発
□
PS:0-2

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

WBC	2000/mm ³ 未満	ANC	500/mm ³ 未満
T-Bil	2.0mg/dL以上	SCr	2.0mg/dL以上
その他			

1クール期間

総クール数

1

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
フィルグラスチム	300μg/㎡	皮下注		d1-4 投与時間※1
※1 治療開始時、24時間後、48時間後、72時間後				
フルダラビン(フルダラ)	15mg/㎡	生食100mL	30min	d2-5 投与時間※2
フルダラビン(フルダラ)	15mg/㎡	生食100mL	30min	
※2 フィルグラスチム初回投与から、20時間後、32時間後、44時間後、56時間後、68時間後、80時間後、92時間後、104時間後より開始				
シタラビン	2000mg/㎡	生食計500mL	3hr	d2-5 投与時間※3
シタラビン	2000mg/㎡	生食計500mL	3hr	
※3 出典では、「フィルグラスチム初回投与から、24時間後、36時間後、48時間後、60時間後、72時間後、84時間後、96時間後、108時間後より開始」となっているが、汎用性の観点から医師と協議の上、フルダラビン投与終了後から開始とした。				
ミトキサントロン(ノバントロン)	10mg/㎡	生食100mL	30min	day4-6 投与時間※4
※4 フィルグラスチム初回投与から、72時間後、96時間後、120時間後より開始				

1日投与順 (経時的にフレメタケーション・ポストメタケーション、溶解液まで含む)
Day1-4)皮下注 投与時間※1 フィルグラスチム 300μg/㎡ (例 治療開始15:00)
Day2-3)DIV 投与時間※2,3 ①グラニセトロン3mg/バッグ+ソル・メルコート40mg/15min ②フルダラ 15mg/㎡+注射用水2.5mL/V+生食100mL/30min (例 11:00) ③生食50mL(フラッシュ用) ④シタラビン 2000mg/㎡+生食 計 500mL/3hr(例 11:30) ⑤生食50mL(フラッシュ用) ①から12時間空ける ⑥グラニセトロン3mg/バッグ+ソル・メルコート40mg/15min ⑦フルダラ 15mg/㎡+注射用水2.5mL/V+生食100mL/30min (例 23:00) ⑧生食50mL(フラッシュ用) ⑨シタラビン 2000mg/㎡+生食 計 500mL/3hr(例 23:30) ⑩生食50mL(フラッシュ用) day2〜)点眼(前でもよい) ステロイド点眼液 1日4回両眼 (Ara-Cによる結膜・角膜炎の発症予防)
Day4-5)DIV 投与時間※2,3,4 ①グラニセトロン3mg/バッグ+ソル・メルコート40mg/15min ②フルダラ 15mg/㎡+注射用水2.5mL/V+生食100mL/30min (例 11:00) ③生食50mL(フラッシュ用) ④シタラビン 2000mg/㎡+生食 計 500mL/3hr(例 11:30) ⑤生食50mL(フラッシュ用) ②から4時間空ける ⑥生食50mL(ルード確保) ⑦ノバントロン 10mg/㎡+生食100mL/30min(例 15:00) ⑧生食50mL(フラッシュ用) ①から12時間空ける ⑨グラニセトロン3mg/バッグ+ソル・メルコート40mg/15min ⑩フルダラ 15mg/㎡+注射用水2.5mL/V+生食100mL/30min (例 23:00) ⑪生食50mL(フラッシュ用) ⑫シタラビン 2000mg/㎡+生食 計 500mL/3hr(例 23:30) ⑬生食50mL(フラッシュ用)
Day6)DIV 投与時間※3 ①グラニセトロン3mg/バッグ/15min day5の⑦から24時間空ける ②ノバントロン 10mg/㎡+生食100mL/30min(例 15:00) ③生食50mL(フラッシュ用)